

# 民報 ゆうばり

# 財政破綻の検証、国の責任明確に！

# 就学援助拡大・『知の再生』を！



1、財政再生計画について  
 質問：市政執行方針の中で、財政再生計画の期間短縮を述べられているが、その具体策と必要な変更点をどのように考えているか。  
 答弁：現時点では、まだ答える段階ではないと考える。リストアップしてある、懸案事項の整理をしながら市民の安心・安全のため優先順位をつけ実行していきたい。

### ▼3月議会大綱質問

3月15日に開催された3月定例議会と、21日、22日の両日にわたった予算委員会での、くまがい桂子議員の質問とそれに対する答弁を、要約してお知らせします。

再質問：歴代の総務大臣も認めている「国の責任」も含め、財政破綻の検証の委員会の設置を要請したい。  
 答弁：現時点では考えていないが、歴史的な経過をふまえ、さまざまな前向きな議論を展開したい。

2、交通網の検討について  
 質問：「公共交通ネットワークの再編、効率的な交通網の検討」を計画しているところだが、具体的にどのようなことを考えているのか。  
 答弁：今後の公共交通網のあり方を検討するため、市民の利用状況、事業者の運営

状況等の実態調査を予定している。国の予算活用に向け、働きかけをしていきたい。

等には、是非出席をお願いしたい。  
 質問：「図書館」「博物館」「美術館」：『知の再生』を  
 質問：国では就学援助に対し、PTA会費やクラブ活動費などの費目の拡大で、小学校約1万円・中学校約4万円の増額を

要望：今後、市民団体が計画している市民主体の歴史検証の会

質問：国では就学援助に対し、PTA会費やクラブ活動費などの費目の拡大で、小学校約1万円・中学校約4万円の増額を

## 夕張市財政破綻の「歴史的検証」を「図書館」「博物館」「美術館」：『知の再生』を

質問：国では就学援助に対し、PTA会費やクラブ活動費などの費目の拡大で、小学校約1万円・中学校約4万円の増額を

質問：国では就学援助に対し、PTA会費やクラブ活動費などの費目の拡大で、小学校約1万円・中学校約4万円の増額を

質問：国では就学援助に対し、PTA会費やクラブ活動費などの費目の拡大で、小学校約1万円・中学校約4万円の増額を

質問：国では就学援助に対し、PTA会費やクラブ活動費などの費目の拡大で、小学校約1万円・中学校約4万円の増額を

# 葛岡 章さん 出版おめでとうの会

著書『姉と私』そして夕張  
「かくも優しく強く生きてきた姉よ」

4 月 9 日午後 5 時から、葛岡章さんの出版をお祝いする会が、弁当宅配の作業の拠点となっているはまなす会館で開かれました。



障がい児者が地域で明るく生き生きと自立して生活できるようにという大きな展望を持ちながら、小さな活動を続けて

いる『手をつなぐ支援者の会 ひろば・シューパロ』の会員が 25 人参加しました。

道を開くに至るまでの、愛と情熱をかたむけねばり強い運動に勇気をもらったこと、記録として残してくれたいことに感謝するものでした。交流の場ではメンバー達が、日頃の弁当作りの腕前を込めて用意してくれたオードブルに、舌鼓を打ちながらの交流となりました。

葛岡さんが著書に織り込んだ意志を受け継ぎ、メンバー達への更なる応援を誓って「葛岡さん、おめでとう！そしてありがとう！」の会を開きました。

## 夕張文化協会 三賞授与式 を行う



夕張文化協会は、3 月 31 日ホテルレースイにて、平成 23 年度の三賞授与式を行いました。

本年度受賞したのは、文化協会賞が長年素晴らしい歌声を市民に届け、昨年創立 65 周年を迎えた「リンデンコール」、市長奨励賞が創立 45 周年の写真展や夕張文化誌の表紙を毎年掲載してきた「写真サークル」、教育長奨励賞が昨年作品展を開き市民に多くの感動を与え、また書道塾を開き子どもたちに書を広めてきた「比志星翠さん」でした。

また、文化協会は、本年度の活動の集大成として「夕張文化誌」57 号を発行しました。どのサークルも、夕張の文化の灯を消さないようにと、困難な中でも活発な活動を展開しています。

## 日本共産党演説会

- ・とき 4 月 22 日 (日) 午後 3 時 30 分
- ・ところ 岩見沢平安閣
- ・お話しする人 紙 智子さん はたやま和也さん



ゆーばり小学校入学式、38 名のピカピカの新 1 年生



日本共産党准中央委員  
道政策委員長

富山 和也の

「かけある記」

「子どもたちのことを思うなら」

別れと出会いの季節です。私の娘も三月に卒園し、立派な一年生になりました。歌にリズム、コマ回しや跳び箱まで過ごさせてもらったことを嬉しく思いました。政府がねらう「子育て新システム」なるものは保育時間の細切れを生み、子ども集団をつくれなくなってしまうと。子を持つ親としても、決して許されません。

卒園式後すぐに、道原発連の調査団として福島県に行きました。避難して誰も住んでいないマンション、手が入らず荒れ放題となった水田、原発に近づくと上がる放射線量：過酷事故が起きれば取り返しがつかないという重い現実を前にし、マスクをして歩く子どもたちの姿を見て、胸を痛めながら北海道に戻ってきました。

よく政府は「次の世代に借金を残さない」ために消費税増税なのだ、と言います。そうであるなら、借金の原因ともなった大型開発事業や軍事費膨張をやめ、政党助成金だつて返して「子どもたちのために使おう」と言ったらいい。しかし、実際は、福島の子どものための医療費無料化を政府は拒んだではありませんか。

四月から税金や保険料の値上げオンパレードのなか、消費税増税、原発の再稼働、五月の日米首脳会談で野田首相が参加表明するかもしれない TPP... 生活の実態や国民の願いとかけ離れた民主党政権へ、道内どこでも怒りの声が広がっています。子どもたちの未来も背負って、がんばりたいと思います。